2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	シライ電子工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6658	URL	https://www.shiraidenshi.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	五藤　学
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員　管理担当	（氏名）	深山　元太　　(TEL) (077)586-1333
半期報告書提出予定日	2026年11月６日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	15,042	10.0	1,014	△5.3	797	△18.1	308	△56.2
2026年３月期中間期	13,678	△4.4	1,071	△9.4	973	△22.8	706	△25.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　891百万円（ 272.3%）　2026年３月期中間期　239百万円（△83.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	20.56	―
2026年３月期中間期	47.22	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	21,269	11,520	53.5
2026年３月期	19,185	11,109	57.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　11,378百万円　　2026年３月期　10,962百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	35.00	35.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	28.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	9.9	1,800	△11.4	1,600	△12.2	1,000	△23.7	66.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	15,116,000株	2026年３月期	15,116,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	18,108株	2026年３月期	120,145株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	15,026,521株	2026年３月期中間期	14,954,949株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性がございます。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、2026年11月中旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は緩やかな回復傾向が続く一方、中東情勢の不安定化等を背景とした資源・エネルギー価格の高騰や、円安による輸入物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、プリント配線板業界においても、原材料価格の高騰やサプライチェーンにおける供給制約など、厳しい事業環境に直面しております。

このような状況のもと、当社グループでは、グローバル購買の推進による調達コストの上昇抑制や販売価格の改定に取り組み、利益率の低下を一定程度抑制できる見通しとなりました。一方で、ディマンドプル・インフレを背景とした原材料やOEM製品の価格上昇に加え、供給制約の継続も懸念されるなど、引き続き不透明な経営環境が続くものと見込んでおります。

こうした事業環境の変化に加え、販売価格改定の効果や今後の供給面におけるリスク等を総合的に勘案した結果、2026年10月19日付で、期初に公表した通期連結業績予想を上方修正いたしました。

今後も、ASEAN・インドを中心とした成長市場への展開や製造体制の効率化・省人化、新規アライアンスの模索などを通じ、全社一枚岩となって収益力の強化と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

当中間連結会計期間における売上高は15,042百万円（前年同期比10.0％増）、営業利益は1,014百万円（前年同期比5.3％減）、経常利益は797百万円（前年同期比18.1％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は308百万円（前年同期比56.2％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

（プリント配線板事業）

プリント配線板事業につきましては、製造・調達コストの上昇に対応するため販売価格の改定を進めたことにより、セグメント売上高は14,696百万円（前年同期比9.9%増）となりました。著しいコスト上昇に加え原材料やOEM製品の供給制約を受けながらも、状況に応じた柔軟な販売/購買活動を進めた結果、収益性の低下を一定程度抑制することができ、セグメント利益は995百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

（検査機・ソリューション事業）

検査機・ソリューション事業につきましては、展示会出展等の効果により新規受注が堅調に推移したことからセグメント売上高は311百万円（前年同期比2.2%増）となり、調達コストや開発費の増加によりセグメント利益は22百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は、21,269百万円（前連結会計年度末比2,083百万円増)となりました。その内訳は、流動資産が12,375百万円（前連結会計年度末比1,922百万円増）、固定資産が8,894百万円（前連結会計年度末比161百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、現金及び預金716百万円、受取手形及び売掛金593百万円、電子記録債権194百万円、棚卸資産385百万円の増加となったこと等によるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産158百万円の増加となったこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は、9,748百万円（前連結会計年度末比1,672百万円増）となりました。その内訳は、流動負債が8,675百万円（前連結会計年度末比1,797百万円増）、固定負債が1,072百万円（前連結会計年度末比125百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、短期借入金1,220百万円、支払手形及び買掛金323百万円、その他307百万円の増加となり、賞与引当金218百万円の減少となったこと等によるものであります。固定負債につきましては、長期借入金136百万円の減少となったこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、11,520百万円（前連結会計年度末比411百万円増）となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定が581百万円の増加となり、利益剰余金が215百万円の減少となったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年10月19日に公表いたしました「2027年３月期連結業績予想(上方)及び期末配当予想(増配)の修正に関するお知らせ」から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	826	1,543
受取手形及び売掛金	4,590	5,184
電子記録債権	1,539	1,734
製品	1,735	1,879
仕掛品	848	883
原材料及び貯蔵品	501	707
その他	411	442
流動資産合計	10,452	12,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,917	3,946
機械装置及び運搬具（純額）	2,200	2,231
その他（純額）	1,582	1,681
有形固定資産合計	7,700	7,858
無形固定資産	172	181
投資その他の資産		
その他	869	865
貸倒引当金	△8	△11
投資その他の資産合計	860	853
固定資産合計	8,733	8,894
資産合計	19,185	21,269

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,357	3,681
電子記録債務	579	670
短期借入金	1,013	2,233
1年内返済予定の長期借入金	387	281
未払法人税等	86	267
賞与引当金	553	334
その他	900	1,207
流動負債合計	6,877	8,675
固定負債		
長期借入金	572	435
退職給付に係る負債	342	352
資産除去債務	152	152
その他	130	132
固定負債合計	1,198	1,072
負債合計	8,075	9,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	366	366
資本剰余金	3,098	3,088
利益剰余金	7,241	7,025
自己株式	△65	△9
株主資本合計	10,641	10,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	17
為替換算調整勘定	239	820
退職給付に係る調整累計額	74	70
その他の包括利益累計額合計	321	908
非支配株主持分	147	141
純資産合計	11,109	11,520
負債純資産合計	19,185	21,269

（２）中間連結損益及び包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	13,678	15,042
売上原価	11,008	12,344
売上総利益	2,670	2,697
販売費及び一般管理費	1,598	1,682
営業利益	1,071	1,014
営業外収益		
受取利息	1	1
補助金収入	12	2
有価物売却益	2	6
その他	8	14
営業外収益合計	24	23
営業外費用		
支払利息	39	33
為替差損	35	109
持分法による投資損失	38	80
その他	9	16
営業外費用合計	123	241
経常利益	973	797
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産売却損	0	―
固定資産除却損	10	6
過年度消費税等	―	132
特別損失合計	10	139
税金等調整前中間純利益	965	659
法人税、住民税及び事業税	210	317
法人税等調整額	50	35
法人税等合計	260	352
中間純利益	704	306
（内訳）		
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△1	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	706	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	10
為替換算調整勘定	△402	487
退職給付に係る調整額	△3	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	90
その他の包括利益合計	△465	584
中間包括利益	239	891
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	246	896
非支配株主に係る中間包括利益	△7	△5

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	965	659
減価償却費	417	470
賞与引当金の増減額（△は減少）	△282	△233
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△3	―
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△13	2
補助金収入	△12	△2
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	39	33
為替差損益（△は益）	84	52
固定資産売却損益（△は益）	△2	△1
固定資産除却損	10	6
持分法による投資損益（△は益）	38	80
売上債権の増減額（△は増加）	△672	△433
棚卸資産の増減額（△は増加）	43	△301
仕入債務の増減額（△は減少）	197	221
その他	4	299
小計	812	853
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△41	△35
補助金の受取額	11	1
法人税等の支払額	△140	△185
法人税等の還付額	0	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	644	663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△184	△276
有形固定資産の売却による収入	3	1
無形固定資産の取得による支出	△2	△6
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	728	1,211
長期借入金の返済による支出	△395	△246
リース債務の返済による支出	△28	△34
自己株式の取得による支出	△93	―
配当金の支払額	△451	△524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241	405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△63
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	158	716
現金及び現金同等物の期首残高	907	802
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,065	1,519

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	中間連結損益及び包括利益計算書計上額(注)３
	プリント配線板事業	検査機・ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,372	265	13,637	40	13,678	―	13,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	39	39	87	126	△126	―
計	13,372	304	13,677	128	13,805	△126	13,678
セグメント利益又は損失(△)	1,064	28	1,092	△1	1,090	△19	1,071

(注) １　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

３　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	中間連結損益及び包括利益計算書計上額(注)３
	プリント配線板事業	検査機・ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,696	281	14,977	64	15,042	―	15,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	29	29	97	127	△127	―
計	14,696	311	15,007	162	15,170	△127	15,042
セグメント利益	995	22	1,017	8	1,026	△11	1,014

(注) １　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△11百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

３　セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。